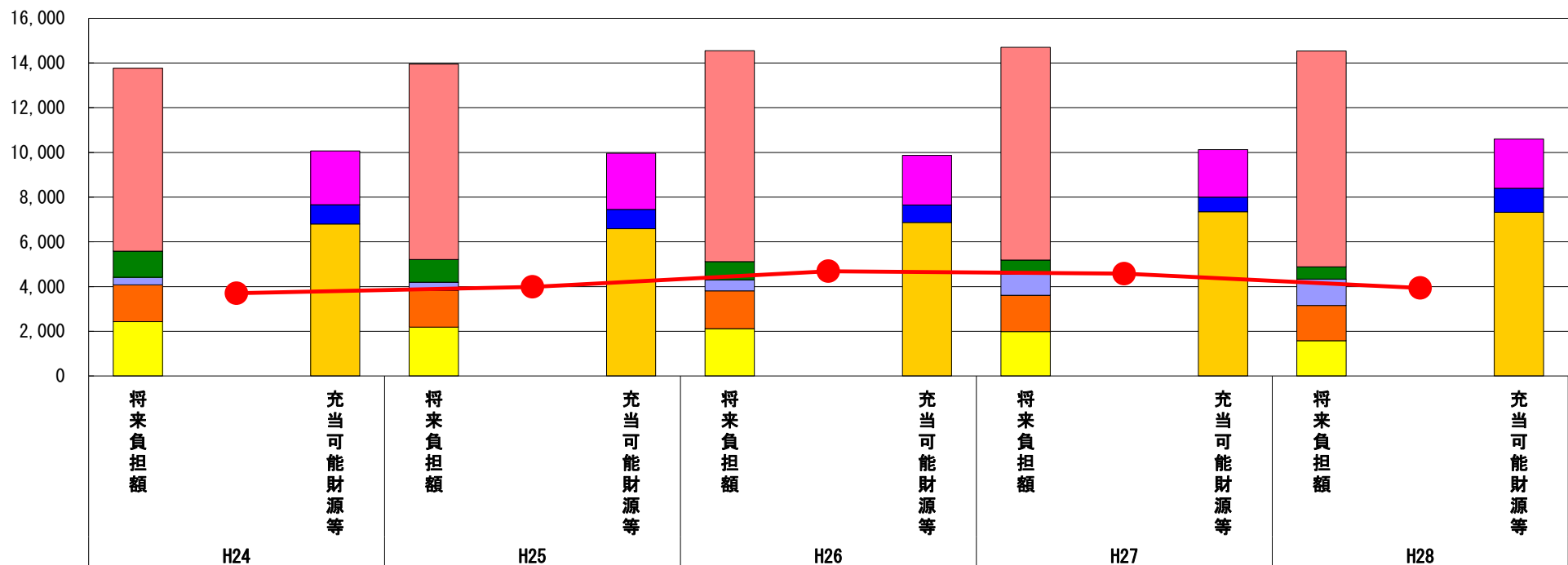


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

長野県下諏訪町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		8,182	8,743	9,427	9,513	9,659
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		1,175	1,016	823	633	544
	組合等負担等見込額		337	356	489	938	1,177
	退職手当負担見込額		1,644	1,651	1,689	1,629	1,579
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,431	2,184	2,120	1,984	1,578
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		2,412	2,515	2,213	2,118	2,201
	充当可能特定歳入		857	862	779	656	1,071
	基準財政需要額算入見込額		6,801	6,583	6,871	7,349	7,328
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,698	3,989	4,686	4,574	3,938

分析欄

将来負担比率の分子を押し上げた要因としては、(1)「一般会計等に係る地方債の現在高」が対前年度146,386千円の増で、リサイクル施設整備事業(旧清掃センター解体)の実施により地方債発行額が多額となったこと、(2)「組合等負担等見込額」が対前年度239,137千円の増で、湖周3市町で共同運営となるごみ処理施設の建設に伴う湖周行政事務組合への負担金が増額となったことが影響している。

一方で、比率の分子を押し下げた要因としては、(1)「公営企業債等繰入見込額」のうち都市計画税に係る下水道未償還元金が対前年度88,805千円減となったこと、(2)「設立法人等の負債額等負担見込額」のうち、土地開発公社の負債額が405,889千円減となったことが影響している。また、上記に加え、将来負担額から差し引くことができる充当可能財源等については、昨年度比476,757千円の増となったことも、分子を押し下げる要因となった。分子全体では、対前年度635,549千円減の3,938,324千円となっている。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。